平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名　株式会社ブリヂストン　　上場取引所　東 名 福
コード番号　5108　URL　http://www.bridgestone.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役 CEO 兼 取締役会長　(氏名) 津谷 正明
問合せ先責任者 (役職名) 資金部長　(氏名) 中村 賢史　TEL 03-3563-6985

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日　配当支払開始予定日　平成25年9月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	1,705,190	14.5	190,399	42.3	184,967	43.4	117,041	55.5
24年12月期第2四半期	1,488,970	2.0	133,785	42.9	128,981	40.4	75,266	39.1

(注)包括利益　25年12月期第2四半期　248,524百万円　(156.6%)　24年12月期第2四半期　96,865百万円　(4.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	149.52	149.35
24年12月期第2四半期	96.17	96.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	3,305,098	1,652,244	48.4
24年12月期	3,039,798	1,417,347	45.2

(参考) 自己資本　25年12月期第2四半期　1,598,378百万円　24年12月期　1,373,021百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	16.00	―	16.00	32.00
25年12月期	―	27.00			
25年12月期(予想)			―	27.00	54.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,590,000	18.1	400,000	39.9	381,000	33.7	246,000	43.4	314.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 有
④ 修正再表示	: 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の2及び第10条の5に該当するものとなります。詳細は添付資料6ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	813,102,321 株	24年12月期	813,102,321 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	30,202,462 株	24年12月期	30,440,507 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	782,788,507 株	24年12月期2Q	782,661,812 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想については、平成25年2月18日に発表した予想を修正しております。当該資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。なお、詳細は、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 4
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 5
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 6
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 6
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 6
３．四半期連結財務諸表 …… 7
（１）四半期連結貸借対照表 …… 7
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 9
四半期連結損益計算書 …… 9
四半期連結包括利益計算書 …… 10
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 11
（５）セグメント情報 …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

① 業績全般

	当第２四半期連結累計期間	前第２四半期連結累計期間	増減	
			金額	比率
	億円	億円	億円	%
売上高	１７，０５１	１４，８８９	＋２，１６２	＋１５
営業利益	１，９０３	１，３３７	＋５６６	＋４２
経常利益	１，８４９	１，２８９	＋５５９	＋４３
四半期純利益	１，１７０	７５２	＋４１７	＋５６

当第２四半期連結累計期間(2013年１月１日から2013年６月30日)の当社グループを取り巻く環境は、為替は円高の是正が進行する中、国内においては、景気は持ち直しの動きが見られました。海外においては、景気は全体として弱い回復が続いており、米国では回復傾向が見られますが、欧州では厳しい状況が続き、財政や金融不安の影響による実体経済の悪化が見られました。また、アジアでは、中国やインドにおいて景気の拡大テンポに鈍化傾向が見られました。

このような状況のもとで、当社グループは、グループ経営の最終目標である「タイヤ会社・ゴム会社として名実共に世界一の地位の確立」、それも他社の追随を許さない「断トツ」の達成に向け、グローバルで高い競争力を持つ商品の拡販や供給能力の増強、生産性の向上、技術優位性の強化、そして経営資源の効率的活用などに一層の努力を続けてまいりました。さらに、事業環境の変化がかつてない速さで進行する中、市場の需要動向への迅速な対応を進めると共に、当社グループが戦略商品と位置付ける商品の拡販や、単なる商品単体の販売に終わらないビジネスモデルの構築・拡大、環境対応商品・事業の展開をより迅速に実行してまいりました。

この結果、当社グループの当第２四半期連結累計期間の売上高は17,051億円(前年同期比15%増)となり、営業利益は1,903億円(前年同期比42%増)、経常利益は1,849億円(前年同期比43%増)、四半期純利益は1,170億円(前年同期比56%増)となりました。

② セグメント別業績

		当第２四半期連結累計期間	前第２四半期連結累計期間	増減	
				金額	比率
タイヤ部門	売上高	億円 １４，４７７	億円 １２，３７５	億円 ＋２，１０１	% ＋１７
	営業利益	１，７３２	１，１９６	＋５３５	＋４５
多角化部門	売上高	２，６４４	２，６０４	＋３９	＋２
	営業利益	１７１	１４０	＋３１	＋２２
連結 合計	売上高	１７，０５１	１４，８８９	＋２，１６２	＋１５
	営業利益	１，９０３	１，３３７	＋５６６	＋４２

タイヤ部門では、国内外市場において魅力ある新商品の投入や、戦略商品として当社グループが位置付ける分野やスペック最適化などの基盤競争力の強化を進め、また、地域ごとの需要変動に迅速に対応してまいりました。

日本では、乗用車及び小型トラック用タイヤ、並びにトラック・バス用タイヤの販売本数は、市販用が前年同期を上回り堅調に推移しましたが、新車用は自動車生産台数が減少した影響が大きく前年同期を大幅に下回りました。米州では、北米タイヤ事業において、乗用車及び小型トラック用タイヤ、並びにトラック・バス用タイヤの販売本数は前年同期を上回り堅調に推移しました。欧州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は前年同期並に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は市販用が増加した影響により前年同期を上回り好調に推移しました。アジア・大洋州では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は前年同期を上回り好調に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は前年同期を大幅に上回りました。中国では、乗用車及び小型トラック用タイヤの販売本数は前年同期を上回り好調に推移し、トラック・バス用タイヤの販売本数は前年同期を著しく上回りました。特殊タイヤについては、建設・鉱山車両用ラジアルタイヤの販売量は前年同期を上回り堅調に推移しました。

この結果、売上高は14,477億円（前年同期比17％増）となり、営業利益は1,732億円（前年同期比45％増）となりました。

また、多角化部門では、売上高は2,644億円（前年同期比２％増）となり、営業利益は国内事業における利益増加の影響により171億円（前年同期比22％増）となりました。

（注）セグメント別の金額はセグメント間の取引を含んでおり、連結合計の金額はそれらを消去した後の数値であります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における財政状態は以下のとおりであります。

(資産の部)

資産の部は、現金及び預金が271億円減少したものの、商品及び製品が480億円、有形固定資産が1,057億円、投資有価証券が572億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ2,653億円増加し、33,050億円となりました。

(負債の部)

負債の部は、コマーシャル・ペーパーが404億円減少したものの、支払手形及び買掛金が247億円、長期借入金が113億円、退職給付引当金が234億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ304億円増加し、16,528億円となりました。

(純資産の部)

純資産の部は、配当金の支払いにより125億円減少したものの、四半期純利益の計上1,170億円、その他有価証券評価差額金が422億円、為替換算調整勘定が903億円、それぞれ増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ2,348億円増加し、16,522億円となりました。その結果、自己資本比率は48.4％となり、前連結会計年度末に比べ3.2ポイントの増加となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

① 前期実績との比較

当期の当社グループを取り巻く環境は、為替や原材料・素材価格の変動、不透明な世界経済や不安定な国際政治情勢により、引き続き注意深く対応していく必要があるものと認識しております。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画に沿った施策を確実に実行することにより、以下の全体業績を見込んでおります。

［連結業績予想］

当期の連結業績予想

		当期予想 （自　2013年１月１日 至　2013年12月31日）	前期実績 （自　2012年１月１日 至　2012年12月31日）	増減	
				金額	比率
		億円	億円	億円	%
売上高		３５，９００	３０，３９７	＋５，５０２	＋１８
営業利益		４，０００	２，８５９	＋１，１４０	＋４０
経常利益		３，８１０	２，８５０	＋９５９	＋３４
当期純利益		２，４６０	１，７１６	＋７４３	＋４３
為替レート	１米ドル当たり	９５円	８０円	－	＋１９
	１ユーロ当たり	１２４円	１０３円		＋２０

② 前回予想からの修正

当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益については、世界経済の回復の遅れもあり販売数量は計画を下回りましたが、為替円高の是正、原材料・素材価格が想定を下回り推移したことや費用の抑制などにより前回予想を上回りました。併せて、2013年５月８日の第１四半期決算発表時点では見直しを行っていなかった下期業績予想の見直しを行い、通期業績予想について修正いたしました。

・業績予想に関する注意事項

当資料の記載内容のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれており、変動する可能性を有しております。従って、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は現時点での当社の判断に対して大きく異なる可能性もあります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、連結会計年度の見積実効税率に基づき計算しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計基準等の改正等に伴う会計方針の変更)

ＩＡＳ第19号「従業員給付」(2011年６月16日改訂)が、2013年１月１日以後開始する連結会計年度から適用されることになったことに伴い、第１四半期連結会計期間より、一部の在外会社において当該会計基準を適用し、数理計算上の差異、過去勤務費用及び利息費用他の認識方法並びに表示方法の変更等を行っております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前第２四半期連結累計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、前第２四半期連結累計期間及び前連結会計年度における当該遡及適用による影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

国内会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、2013年１月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる損益への影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2013年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	226,162	198,987
受取手形及び売掛金	444,669	473,094
有価証券	124,010	122,029
商品及び製品	321,012	369,070
仕掛品	34,524	36,757
原材料及び貯蔵品	165,188	164,027
その他	168,520	199,075
貸倒引当金	△8,074	△8,250
流動資産合計	1,476,013	1,554,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	352,194	381,993
機械装置及び運搬具（純額）	376,232	408,943
その他（純額）	390,509	433,782
有形固定資産合計	1,118,936	1,224,719
無形固定資産	34,118	39,366
投資その他の資産		
投資有価証券	228,214	285,425
その他	187,583	206,292
貸倒引当金	△5,067	△5,495
投資その他の資産合計	410,730	486,222
固定資産合計	1,563,785	1,750,307
資産合計	3,039,798	3,305,098

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2012年12月31日)	当第２四半期連結会計期間 (2013年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	168,568	193,293
短期借入金	182,821	170,302
コマーシャル・ペーパー	40,435	―
1年内償還予定の社債	60,972	8,105
リース債務	864	886
未払法人税等	55,827	63,421
未払金	149,543	126,473
その他	231,072	250,296
流動負債合計	890,105	812,780
固定負債		
社債	63,121	110,000
長期借入金	262,330	273,660
リース債務	9,546	10,677
退職給付引当金	302,794	326,225
その他	94,552	119,509
固定負債合計	732,345	840,073
負債合計	1,622,450	1,652,853
純資産の部		
株主資本		
資本金	126,354	126,354
資本剰余金	122,630	122,813
利益剰余金	1,428,747	1,533,266
自己株式	△57,247	△56,804
株主資本合計	1,620,484	1,725,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	133,439	175,699
繰延ヘッジ損益	△948	△313
為替換算調整勘定	△246,190	△155,889
在外会社の退職給付債務等調整額	△133,763	△146,747
その他の包括利益累計額合計	△247,462	△127,251
新株予約権	1,099	1,680
少数株主持分	43,226	52,185
純資産合計	1,417,347	1,652,244
負債純資産合計	3,039,798	3,305,098

(２)四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　2012年１月１日 至　2012年６月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自　2013年１月１日 至　2013年６月30日)
売上高	1,488,970	1,705,190
売上原価	990,245	1,101,491
売上総利益	498,725	603,699
販売費及び一般管理費		
販売運賃	62,591	72,071
広告宣伝費及び販売促進費	44,085	53,761
給料手当及び賞与	95,897	109,523
退職給付費用	7,945	9,713
減価償却費	11,512	13,319
研究開発費	41,096	43,421
その他	101,810	111,488
販売費及び一般管理費合計	364,939	413,299
営業利益	133,785	190,399
営業外収益		
受取利息	1,639	2,583
受取配当金	3,968	5,487
雑収入	9,479	9,419
営業外収益合計	15,087	17,489
営業外費用		
支払利息	8,685	7,648
為替差損	3,677	6,877
雑損失	7,528	8,396
営業外費用合計	19,891	22,921
経常利益	128,981	184,967
特別利益		
固定資産売却益	－	3,073
特別利益合計	－	3,073
特別損失		
減損損失	11,613	－
事業撤退損	2,903	－
特別損失合計	14,516	－
税金等調整前四半期純利益	114,464	188,040
法人税等	35,692	64,544
少数株主損益調整前四半期純利益	78,771	123,496
少数株主利益	3,504	6,455
四半期純利益	75,266	117,041

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2012年１月１日 至　2012年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2013年１月１日 至　2013年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	78,771	123,496
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,715	42,253
繰延ヘッジ損益	258	635
為替換算調整勘定	2,047	94,583
在外会社の退職給付債務等調整額	1,456	△12,984
持分法適用会社に対する持分相当額	616	540
その他の包括利益合計	18,093	125,028
四半期包括利益	96,865	248,524
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,235	237,252
少数株主に係る四半期包括利益	3,630	11,272

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第２四半期連結累計期間（自　2012年１月１日　至　2012年６月30日）

（単位：百万円）

	タイヤ	多角化	計	調整額（注）	四半期連結損益計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,235,685	253,284	1,488,970	―	1,488,970
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,839	7,211	9,051	△9,051	―
計	1,237,525	260,496	1,498,022	△9,051	1,488,970
セグメント利益(営業利益)	119,694	14,060	133,755	30	133,785

（注）セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

当第２四半期連結累計期間（自　2013年１月１日　至　2013年６月30日）

（単位：百万円）

	タイヤ	多角化	計	調整額（注）	四半期連結損益計算書計上額
売上高					
外部顧客への売上高	1,446,231	258,959	1,705,190	―	1,705,190
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,484	5,511	6,996	△6,996	―
計	1,447,716	264,470	1,712,186	△6,996	1,705,190
セグメント利益(営業利益)	173,212	17,168	190,381	18	190,399

（注）セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。